

鈴

木

2021
SPRING

直

Report
Vol.3

〒060-0032
札幌市中央区北2条東1丁目2-10
TEL.011-209-7070 FAX.011-209-7080
令和3年5月発行



鈴木直道レポート 3号 [活力あふれる北海道の未来を実現する会会報]

プロフィール

1981年生まれ。埼玉県出身(本籍は夕張市)。東京都庁入庁後、働きながら法政大学法学部を卒業。2008年夕張市に職員派遣される。東京都庁を退職し、2011年夕張市長に当選。2期8年務める。2019年北海道知事に当選



ごあいさつ

こんにちは、鈴木直道です。平成31年4月に知事に就任してから2年が過ぎ、私が政治の世界に身を投じてからはちょうど10年が経ちました。多くの方々に支えられながら、今こうして北海道知事を務めさせていただいていることに改めて感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の流行が長期化し、今もなお予断を許さない状況が続いています。この間、道民の皆さまの命と暮らしを守るために対策に、全力で取り組んでまいりました。これからも皆さまの不安に寄り添いながら、感染症への対応を最優先として取り組んでまいります。その上で、コロナ禍において顕在化した、都市一極集中への懸念やサプライチェーンの再編、デジタル化や脱炭素化などの動きを的確に捉え、ポストコロナを見据えた政策を積極的に進めてまいります。

引き続き、皆さまのご理解とお力添えをいただきますようよろしくお願ひいたします。

令和3年度の重点政策は
「命と暮らしを守り
未来を切り拓く」予算



医療体制等の充実強化

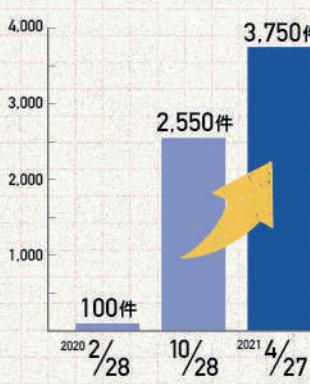
新北海道スタイルの定着促進と経済への影響対策

学びや生活の安全確保と道民の健康づくり

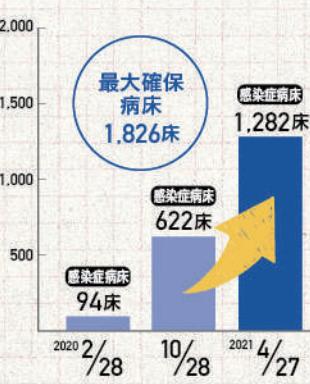
最優先で取り組む3つの政策

医療体制の強化

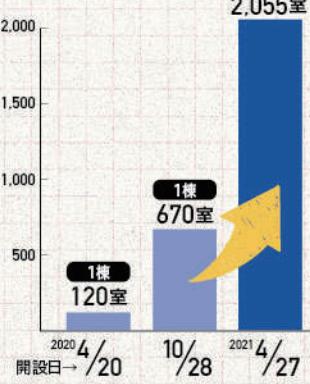
●PCR検査能力



●受け入れ体制



●宿泊療養施設



第3波の急激な感染拡大時の病床の利用ピークは998床でしたが、現在医療機関の皆さまのご理解とご協力で即応病床数は1,282床、最大確保病床数は1,826床となりました。また、軽症者向けの宿泊療養施設も全道6圏域に9棟2,055室を確保し、機動的に対応していきます。また、ワクチンの接種体制の整備やいつでも相談できる窓口の確保を図ります。

経済対策

新年度コロナ対策6,431億円 事業者支援に手厚く措置

令和3年度当初予算では、今後のさらなる感染拡大も想定しながら万全の準備を行うという考えのもと、ワクチン接種体制の整備、医療検査体制の強化を進める一方で、コロナによる売上減少、感染防止対策やテレワーク導入による経費増加で厳しい経営環境にある事業者の支援に手厚く措置しました。

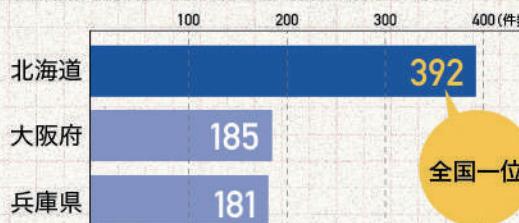
【主なコロナ関連事業】

ワクチン接種体制の整備	約3億円
軽症者等用宿泊療養体制の整備	約216億円
中小企業者の資金調達の円滑化	約4,503億円
時短・外出自粛等により影響を受けた事業者への支援	51億円
企業等におけるテレワーク導入促進	約2億円

変異株のスクリーニング検査件数一位

変異株の感染が確認されてから、北海道ではいち早く変異株のスクリーニング検査を開始しました。変異株の増加が全国的に現れ始めた3月時点で、全国一位の検査数を実施しています。変異株の感染拡大が予想されたため、3月27日に札幌市内における不要不急の外出自粛・往来自粛をお願いしました。

●変異株のスクリーニング検査件数(3月15日~21日)



ふるさと納税 全国一位に!

令和元年度の個人からのふるさと納税、企業版ふるさと納税共に都道府県別ランキングで北海道が一位となりました。

◆個人による納税件数(道と市町村の合計)

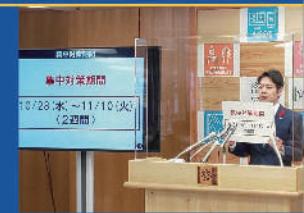
令和元年度 約382万件

平成29年度 約220万件

新型コロナウイルス 感染症対策

2020年
10月末

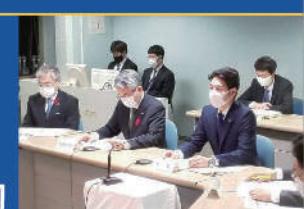
集中対策期間スタート



2020年
11月上旬

すすきの地区へ時短要請

11月7日、警戒ステージを3へ引き上げ、過去の第1波、第2波の経験から、この段階で感染防止対策を徹底することが重要と判断しました。



2020年
11月中旬

札幌へ外出自粛を要請

11月17日、札幌市の警戒ステージを4相当とし、不要不急の外出自粛と往来自粛を要請しました。また、宿泊療養施設は道内6圏域全てに整備しました。



2020-21年
年末年始

静かな年末年始へのお願い

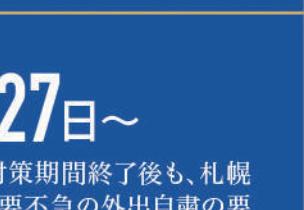
人の移動による感染拡大が懸念される年末年始に向け、市長会・町村会や医師会等と協力し、道民の皆さんに「静かな年末年始」をお過ごしいただくよう、メッセージを発出いたしました。



2021年
1月上旬

道の集中対策期間を延長

1月7日に国の緊急事態宣言が首都圏4都県に関して発令され、道の集中対策期間を延長しました。市町村への専門家の派遣、PCR検査センターの増設、集団感染への迅速な対応などの対策を進めました。



2021年
3月27日~

3月7日の集中対策期間終了後も、札幌市内における不要不急の外出自粛の要請など、引き続き、感染の再拡大の防止に向けて取り組んでおります。



政治活動 10年 の節目を迎えて

鈴木知事

Interview

鈴木直道応援団●インタビュー

夕張時代を支えた“恩人”が語る

鈴木直道 政治活動の「原点」

「自分には息子が2人いるけど、もう一人の息子みたいなものでね」

鈴木知事を古くから支えてきた功労者の一人。埼玉県三郷市で会社勤めをしていたころ、知事の近親者との縁で、当時高校生だった直道少年と出会った。大人相手でもまったく物おじせずに話をする姿を見て、「変わった子だな」と思ったのが第一印象だ。

東京都職員となり2年間の夕張派遣を終えた直道青年は、衰退したまちを立て直すため、市民有志から夕張再生の要請を受け、平成23年の夕張市長選への出馬を決断。同郷のJしみで急きょ選挙を手伝うことになり、2人で雪の中、市内を歩いて回った。「最初は『東京から来た人でしょう』と冷めた態度だった市民にも、熱意が次第に伝わって



「いた。辛かったけど楽しかったですね」と振り返る。

全国唯一の財政再生団体のまちに、当時最年少だった30歳の市長が誕生。それから1年ほど経ったある日、直道・麻奈美夫妻から一通の手紙が届いた。そこには「夕張再生に力を貸してほしい」という思いが切々とつづられていた。その志の高さと情熱に心打たれ、夕張への単身移住を決意。平成27年には夕張市議会議員となり、若き市長のサポート役に徹してきた。5年前には奥さんも夕張市民に。

鈴木知事と会う機会は以前より減ったが、「立場は変わっても人柄は昔のままですね」。ボクシングの2階級制覇全日本社会人チャンピオンで、大学時代にボクシングで鍛えた知事とは共通の話題で盛り上がることも。栃木県出身の75歳。

記者会見の最長時間
2時間27分 (令和2年2月21日)

平均時間
1時間11分 (令和2年10月30日～令和3年1月6日)

真相に迫る!
そうだったのか記者会見!?

本当は長～い会見時間

テレビなどで見る記者会見は、長くても20分程度ではないでしょうか。しかし、実際は対策会議から会見までを含めると、3時間を超えることも珍しくありません。本人いわく「マスクをして長時間話すので酸欠になりそうになる」。実は鈴木知事は就任当初から、報道陣からの質問に答える際、最後の一人が終わるまで何時間でも付き合うという姿勢を貫いてきました。それは、「何時間でも丁寧に説明をして理解してもらう努力をすることで報道機関の向こう側にいる道民の皆さんに伝えることができる」という信念があるからだとか。北海道の公式YouTubeで会見の全容を視聴することができるので、ご興味のある方はぜひご覧ください。

- 大空町で初開催
- リモート後援会が大成功!

コロナ禍で皆さまとの交流が図れない中、10月31日、初のリモート後援会を大空町で開催しました。この日は後援会の設立総会も兼ねており、高橋肇会長らが万全の感染症対策を実施。「回線が途切れたりしましたが、おおむねスムーズに進めることができました」とリモート担当の河西大輝事務局長。札幌から参加した知事も地域の方々とふれあう機会を喜び、後援会としても今後リモート開催を増やしていく予定です。



「5~6月に見頃を迎える東藻琴芝桜公園は圧巻。知事には特産の豚肉やシシミもぜひ食べてほしいです」と語る大空町長(写真右)と櫻井町長



ホームページをリニューアル!

政治活動10年の節目を迎え、活動内容をより深く
知っていただきたため、鈴木直道後援会ホームページ
を大幅リニューアルしました。毎日更新中のSNS
は、スマホからもパソコンからもどなたでもご覧い
ただけます。



<https://www.naomichi-suzuki.com/>

